

# 中野市立博物館 年報 1

2017 (平成 29) 年度

## 刊行にあたって

博物館運営の年度ごとの状況に関しては、従来から年刊の「教育要覧」等で記録化してきている。これらは教育委員会所管事業のまとめとして、博物館の社会教育的・統計的側面を主としている。しかし、博物館活動は多方面において過去を継承したうえで、それを新たに発展させることが基礎となっている。そこで従来の不足を補い、将来へ伝えるべきアーカイブとして年報を発刊することにした。できれば将来、「紀要」的側面も付加して充実をはかりたい。

なお、収蔵資料目録の公開方法は別途考慮している。

### 目次

I	博物館の概要	1
1	沿革	
2	施設概要	
3	館外施設	
	館略図	2
II	組織	3
1	博物館協議会	
2	平成 29 年度組織・職員	
III	展示	4
1	展示室	
2	水彩画展示室	5
3	企画展	
4	プラネタリウム	6
IV	講座等	
1	講演会	
2	学芸員講座	7
3	市民参加講座	
4	館外講座	8
5	体験講座(「キッズ・アカデミー」等)	9
V	資料	10
1	収蔵・展示する指定文化財	
2	資料利用	11
VI	運営・利用実績	12
1	運営	
2	入館者・利用者	

# I 博物館の概要

## 1 沿革

一本木公園内の歴史民俗資料館（1981年建築、468㎡）を移転して、2009年4月、市立博物館が発足した。展示室は同5月1日から公開されている。施設は文化公園（都市計画課所管）内の「創造館」（展示・研修・休憩施設、1991年開館）を改修したものである。展示室以外は従前の基本設備を踏襲しており、博物館としての機能面で十分でない点がある。また、水彩画展示室・展望室・休憩室等はそのまま無料エリアとして受け継ぎ、公園施設としての機能も果たしている。柳沢遺跡出土品（重要文化財）の受入れに伴い、2012年から展示室の一部を大改修し保存・展示環境を整えて、2014年から指定品の収蔵展示室として公開している。旧歴史民俗資料館は一本木公園内で美術品等の展示館（文化スポーツ振興課所管）として利用されている。

## 2 施設概要

RC 3F 延床面積 2007.87㎡  
展示室 2室計 594㎡、研修室 3室計 128㎡、プラネタリウム 133㎡（100席）、  
収蔵庫 83㎡ 2層（考古・古文書・民俗・歴史資料）、展望室 44㎡（3F）、ほか  
（次ページ参照）

※収蔵庫は展示資料を主に、寄贈・寄託品・県埋蔵文化財センター移譲資料等を収蔵。

## 3 館外施設

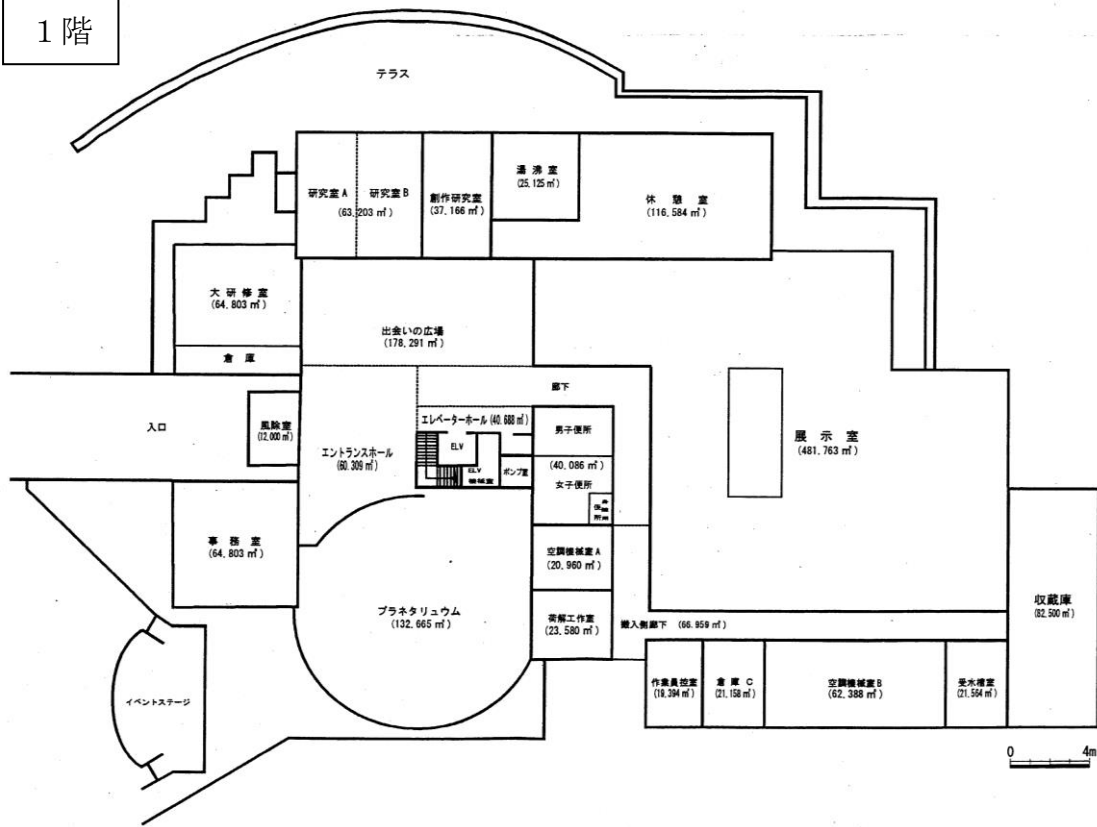
・収蔵庫（敷地内） LS 2F 延床面積 119.08㎡  
図書資料・文化財行政資料等を収蔵している。

・民俗資料収蔵庫（豊井小学校内） W 2F 延床面積 430㎡  
地域住民により収集された旧豊井小学校民俗資料館の収蔵資料とともに、その後の博物館の収集による民俗資料を収蔵している。（民具 981点）

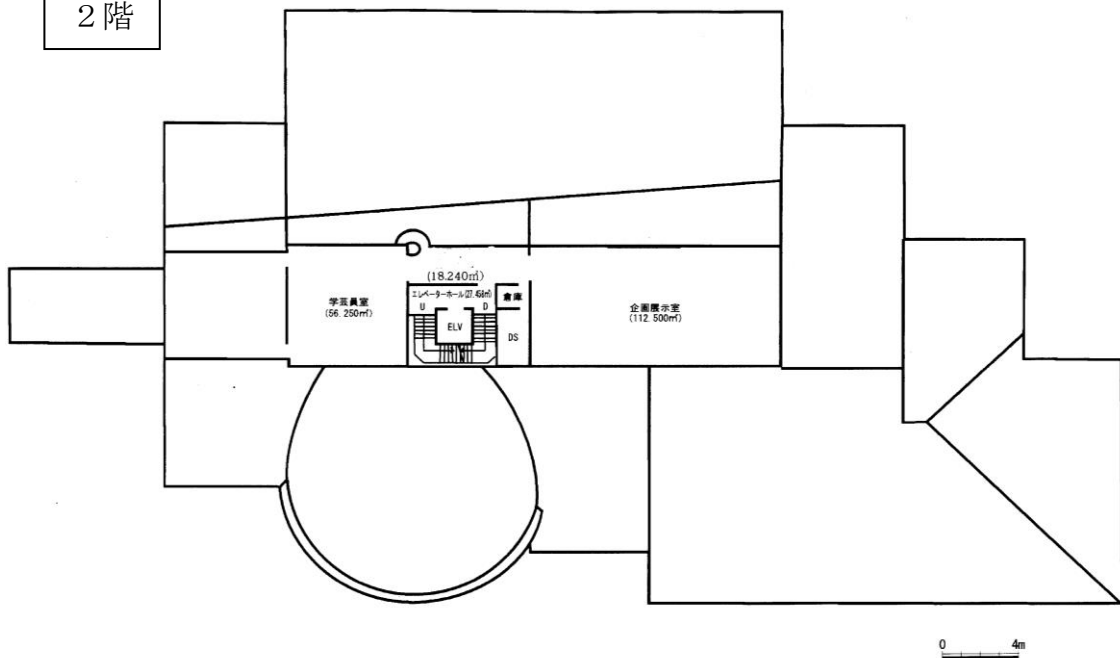
※他に（仮称）山田家資料館収蔵品として山田家資料を中心に民俗資料 2,737点が整理済となっている。

・上記のほか、館外収蔵として  
考古資料 2か所（一本木倉庫 300㎡ 埋蔵文化財 5,000箱）  
（平野倉庫 100㎡ 埋蔵文化財 1,000箱）  
民俗資料 1か所（一本木展示館 民俗資料 1,909点）

1階



2階



## II 組織

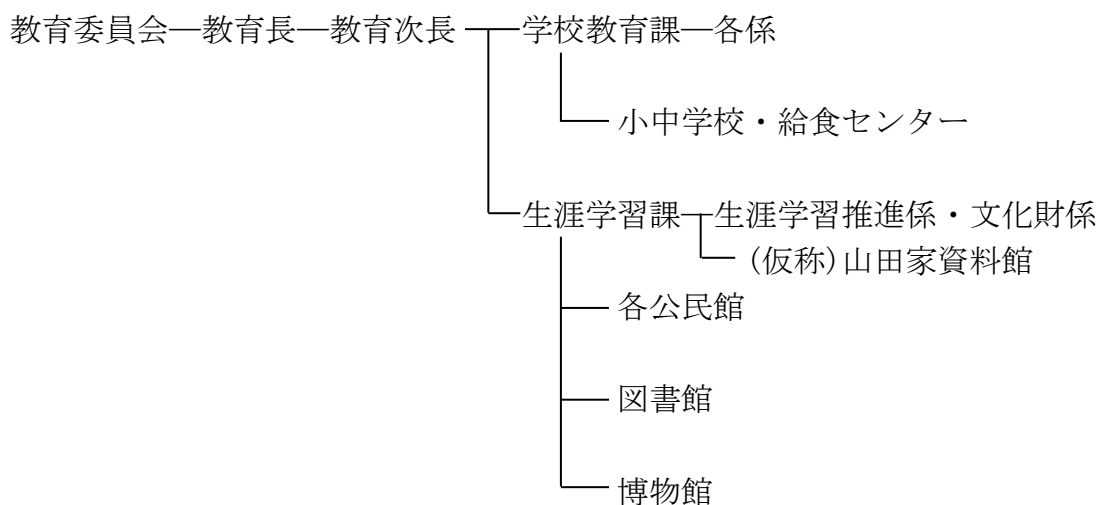
### 1 博物館協議会

任期2年（～29年11月25日）

会長 大西 浩次（長野工業高等専門学校 教授）天文学  
会長代理 嶋田 伸次（中野市こどもセンター所長）  
委員 青木 修（倭小学校長）（以下、五十音順）  
市村 千絵（公募）  
柴垣 顯郎（中野市社会教育委員）  
菅沼 住子（公募）  
田端 智子（公募）  
寺島 正友（中野市文化財保護審議会）  
水澤 教子（長野県埋蔵文化財センター）考古学  
山崎 圭（中央大学 教授）近世史

・10月26日開催

### 2 平成29年度組織・職員



館長（嘱託） 土屋 積  
副館長 小林 学  
学芸員 大滝敦士  
〃 柳生俊樹（文化財係併任）  
〃（嘱託） 関谷明佳（12月末日退職）  
〃 〃 綿貫 薫  
臨時職員 関 まゆみ  
〃 柴本えり  
〃 岩戸雅彦



博物館外観

### Ⅲ 展示

#### 1 展示室

自然・原始古代・中世・近世・近代・民俗各コーナー  
 柳沢遺跡重要文化財展示収蔵庫・青銅器映像展示  
 指定無形民俗文化財映像展示コーナー

展示室実物資料(2018. 3. 31 展示中)

	件	点	指定物件	主内容
自然	46	180	ナウマンゾウ化石 2(市)	動物剥製・蝶標本
原始古代	49	885	土偶 1(市)・弥生土器 2(市)・高遠山 18(県)	土器・石器・金属器・玉
須恵器窯跡	10	70		須恵器・窯体
中世	12	114	鉦鼓 1(県)・埋納銭容器 3(市)	土器・陶磁器・金属器
近世	13	27		文書・高札・絵図面
近代	2	3		彫刻・絵画
民俗	15	63		民具(生活・生産・信仰)
柳沢展示収蔵庫	7	264	柳沢 212(国)	青銅器・土器・石器・玉
合計	154	1606	239	

## 2 水彩画展示室

旧創造館では故西沢今朝夷氏の一括寄贈を受け水彩画展示室を設置していた。それを受け、年間2回（6月・12月）の展示替で水彩画展示（文化スポーツ振興課所管）を継続するとともに、他の展示にも一部を利用している。

平成29年度は水彩画展『ふるさとの記憶』のほか『大西浩次 星景写真展』を実施し、ともに途中入れ替え展示をしている。無料エリアのため正確な観覧者数は把握できない。

（水彩画11点・写真8点 2018.3.31現在 展示中）

## 3 企画展等

- ・『逸品展—新指定文化財と新収蔵品』

5月27日（土）～7月17日（月）

主な展示品：憲徳学校扁額・尾張高梨家史料・清水山窯跡須恵器・神田五六氏収集資料・斧形石器（後期旧石器）等

解説パンフレット 6ページ

開館日数：45日 観覧者数：391名

- ・『高丘丘陵の古代窯跡群—奈良時代の大窯業地帯—』

9月23日（土）～12月3日（日）

主な展示品：清水山窯跡・池田端窯跡等の須恵器・瓦・窯体・ジオラマ等  
図録『高丘丘陵の古代窯跡群』（リーフレット）12ページ

開館日数：62日 観覧者数：809名

- ・高橋由一作品特別公開

11月3日～12月10日

主な展示品：「山田荘左衛門」肖像画2点

開館日数：33日 観覧者数：290名

- ・長野県立歴史館『長野県の遺跡発掘2018』地域展に共催出展

3月17日～継続中 会場：長野県立歴史館

主な展示品：弥生時代中期石器149点

## 4 プラネタリウム

### ・年間投影番組

『ぼくたち惑星8兄弟～太陽系学校の日～』 (株)リブラ

『秘密結社鷹の爪 ジュラジュラ ジュラシクトラベル』  
エクスプローラーズ ジャパン(株)

『よもやま学園天文部～春・夏・秋・冬の星空～ 各編』 (株)リブラ

『名探偵コナン 探偵たちの星月夜』 (株)リブラ

『動物園に行こう』(飯田市美術博物館提供) 番組外投影

『石川県観光プロモーション』(石川県提供) //

### ・投影ソフト 「ステラドームプロ」(株)アストロアーツ製

### ・定時一般投影

土曜日 3回 11:20 13:10 14:30

日曜日・祝日 4回 10:00 11:20 13:10 14:30

### ・特別投影

団体予約 31団体 1,239名

春季特別投影 4月29日～5月7日 439名

夏季特別投影 7月22日～8月20日 1,588名

冬季特別投影 12月23日～1月8日 115名

春休み特別投影 3月17日～31日 506名

『サマーナイトミュージアム』 8月11日

投影 10:00～20:30 203名

### ・年間投影日数:172日 投影回数:469回

## IV 講座等

### 1 講演会

#### ・『進化する縄文土器』(長野県立歴史館出前講座)

講師:寺内隆夫(長野県立歴史館)

10月1日 25名

#### ・『帝国議会貴族院議員としての山田荘左衛門』(山田家資料館特別講演会)

講師:小林和幸(青山学院大学)

11月18日 25名

#### ・『植物の想いを語る』(植栽講座講演会) 会場:中野陣屋県庁記念館

講師:矢澤秀成(園芸研究家)

2月18日 35名

#### ・『近世の千曲川洪水と地域』(高井地方史研究会共催) 会場:中央公民館

講師:山崎 圭(中央大学)

3月4日 97名



## 2 学芸員講座

延べ 140 名

- ・古文書講座

担当：大滝学芸員

5月17日～3月21日（全11回） 129名

- ・『美術の見方』

担当：綿貫学芸員

5月24日（全1回） 7名

- ・『古墳ウォーキング』

担当：土屋館長

11月11日（全1回） 4名

## 3 市民参加講座

- ・植物観察会『神社林と帰化植物の侵入』

講師：清水照雄

4月22日～2月24日（全11回） 延54名

- ・野鳥観察会『中野市の野鳥の生息状況』

担当：本村学芸員（文化財係）・綿貫学芸員

4月15日～3月17日（全12回） 延69名

- ・『豊田の石仏を調べよう』（豊田地区の石造物悉皆調査）

担当：関谷学芸員・大滝学芸員

5月13日～3月3日（全11回） 延117名

- ・市民自主講座『植栽講座』（花と緑を育てる会）

9月20日～1月17日（3回） 延49人

※他に別記講演会

- ・星空観望会 講師：信州中野天文同好会

「春のほしぞらを見よう」 5月27日 29名

「夏のほしぞらを見よう」 7月29日 17名

「秋のほしぞらを見よう」 10月14日 22名

「早春のほしぞらを見よう」 3月17日 25名



**5 体験講座**（「キッズ・アカデミー」等） 34回 延469名

- ・5月21日『なたね油しぼり』 12名
- ・5月28日（成人向けワークショップ）『桜染め』 21名
- ・6月10日『こどもパソコン アフターケア』 2名
- ・6月24日『ピカピカ光る星のキーホルダーをつくろう』 38名
- ・7月27日～31日（全5回）『目指そう未来のロボコン戦士』 延14名
- ・8月4日『すみながしで作る 手作りマイうちわ』 20名
- ・8月6日『縄文土器と土偶づくり』 9名
- 8月19日野焼き 8名
- ・8月11日「サマーナイトミュージアム」 開館9：00～21：00  
    展示室：43名 プラネタリウム（20回）：263名 その他：119名
  - 『われにくいシャボン玉』 25名
  - 『カラムシ収穫』 3名
  - 『綿繰』 14名
  - 『星座のブローチ』 36名
  - 『草木染め』 3名
  - 『刺繍糸でミサンガ』 20名
  - 『こどもパソコンプログラミング』 1名
  - 『すみながしで作る マイうちわ』 7名
  - 『光る星づくり』 10名
  - 『ミサンガ作り』 20名
- ・8月12日『光とメロディーが流れる電子こまをつくろう』 13名
- ・9月1日『拓本のしおり作り』 46名（相森中学校区ブロック交流会）
- ・9月9日『まが玉ってな～んだ』 14名
- ・10月22日『こどもパソコン アフターケア』 2名
- ・10月22日『勾玉づくり』 2名
- ・10月28日『手づくりmy ランタン』 2名
- ・11月18日『こどもパソコンをつくってみよう』 12名
- ・11月26日『綿つむぎとコースターづくり』 19名
- ・12月3日『きらきらステンドグラス』 13名
- ・12月23日『こどもパソコン アフターケア』 4名
- ・1月20日『中山道すごろくで旅行気分を味わおう』 4名
- ・1月27日『ひょうたんのランプシェード』 20名
- ・2月18日『こどもパソコン アフターケア』 6名
- ・3月10日『光とメロディーが流れる電子こまをつくろう』 21名
- ・3月21日～25日（全5回）『目指そう未来のロボコン戦士』 延39名
- ・3月25日『拓本でしおりづくり』 7名

## V 資料

### 1 収蔵・展示する指定文化財

- ・国重要文化財『柳沢遺跡出土品』（銅鐸・銅戈等 212 点）
  
- ・長野県宝『高遠山古墳出土品』（鉄剣・銅鏃等）  
『鉦鼓』
  
- ・市指定有形文化財『土偶』（1 点）  
『弥生式土器』（2 点）  
『ナウマン象臼歯』（2 点）  
『埋納銭及び埋納銭容器』（銭・木箱・珠洲焼甕等）  
『中野町製糸場水車器械略図』
  
- ・出土品・映像等を収蔵・展示する指定文化財
  - 国史跡 高梨氏館跡
  - 国天然記念物 十三崖のチョウゲンボウ繁殖地
  - 県史跡
    - 栗林遺跡
    - 中野県庁(陣屋)跡
    - 高梨氏城跡（鴨ヶ岳城）
    - 七瀬双子塚古墳
    - 高遠山古墳
  - 市史跡
    - 林畔 1 号古墳
    - 建応寺跡
    - 金鎧山古墳
  - 市無形民俗文化財
    - 小内八幡神社青獅子（安源寺）
    - 日和山神社鬼獅子（草間）
    - 上今井諏訪社太々神楽
    - 赤岩の宣澄踊り
    - 餅かえ行事（小沼）
    - 赤岩の太々神楽(高杜神社)
    - 新野の式三番叟(新野神社)
    - 松川の川崎踊
    - 大俣の水神祭

## 2 資料利用

### ・貸出

重要文化財『柳沢1・5号銅戈・2号銅鐸』 写真掲載含む

期間：9月20日～12月10日

兵庫県立考古博物館『青銅の鐸と武器』（10月7日～11月26日）

千田遺跡縄文土器 写真掲載含む

長野県立歴史館『進化する縄文土器』（9月16日～11月26日）

栗林遺跡ほか弥生中期土器・石器 写真掲載含む

長野県埋蔵文化財センター『掘るしん in 中野』展示（3月3・4日）

神田五六資料ほか弥生時代中期石器 写真掲載含む

長野県立歴史館「長野県の遺跡発掘2018」（3月17日～継続中）

### ・掲載等

館外観画像

『ジュニア考古学6号』掲載 12月8日 長野県埋蔵文化財センター所長  
柳沢遺跡青銅器埋納坑・礫床木棺墓群の写真

『熊谷市史』掲載 2月16日 熊谷市教育長

### ・借用

長野県立歴史館 池田端窯跡ほか 瓦・須恵器・他 35点

借用期間：9月21日～12月10日

若宮区 憲徳学校扁額（市指定有形文化財）

借用期間：5月24日～7月19日

倭小学校 斧形石器

借用期間：5月24日～7月19日

### ・閲覧

沢田鍋土遺跡旧石器

7月29日 岩瀬彬（首都大学東京）

湯本武比古資料

11月3日 井上彩子

姥ヶ沢遺跡縄文土器

11月10日 高橋保（新潟県埋蔵文化財調査事業団）

千田遺跡・柳沢遺跡縄文土器

3月22・23日 川添和暁（愛知県埋蔵文化財センター）

## VI 運営・利用実績

### 1 運営

- ・開館時間 9時～17時（4月～11月）  
10時～16時（12月～3月）
- ・休館日 毎週火曜日（祝日は開館）  
年末年始（12月29日～1月3日）
- ・特別開館  
5月2日（火） 8月1・8・15日（火）  
8月11日（金・祝）「サマーナイトミュージアム」  
開館9：00～21：00  
プラネタリウム10：00～20：30
- ・年間開館日数 312日
- ・観覧料（中学生以下無料）  
常設展示室 一般 200円（団体160円） 高校生 100円（団体 80円）  
プラネタリウム 一般 400円（団体320円） 高校生 200円（団体160円）
- ・無料券市内全戸配布（展示室・プラネタリウム各2枚）  
有効期間：2月1日～3月31日  
無料券利用者：延340名
- ・4月16日『浜津ヶ池ボート開き』  
展示室・プラネタリウム無料開放  
利用者：延297名
- ・『博物館たより』（改題）16～23号  
全戸回覧または全戸配布  
館行事の広報等

### 2 入館者・利用者（4月1日～3月31日 開館：312日）

- ・展示室 3,546人
- ・プラネタリウム 5,836人
- ・研修室（貸館） 211人
- ・講座・講演等 1,740人
- ・水彩画展示室等 2,052人

合計 13,385人

うち団体利用（56団体 1950名）

うち市内学校：253名 市外学校：491名 その他団体・視察等：1,206名

（執筆・編集 土屋）

中野市立博物館 年報 1

2017（平成 29）年度

〒383-0046 長野県中野市大字片塩 1221（文化公園内）

Tel ・ Fax 0269-22-2005

<http://www.city.nakano.nagano.jp/city/hakubutukan/index.htm>

Email : [hakubutsukan@city.nakano.nagano.jp](mailto:hakubutsukan@city.nakano.nagano.jp)

2018（平成 30）年 5 月 31 日発行